

東加積地区の主な提言等と回答要旨

提言等の項目	23年度春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
市政	市長と市議会がもめていると聞いている。どういった状況なのか。	政局や政争ではなく、政策中心で市政運営にあたっており、そういった質問に答える術がないというのが実情です。
財政状況	滑川市の財政力指数は、他市町村と比べてもそんなに悪くない。経済的悪化はないと思うが。	財政力指数はあくまで交付税の算定上の数字で、市町村の実情は異なります。平成21年度の滑川市の実質公債費比率は19.1%ですが、全国平均が11.2%とまだまだ借金が多い状況です。
スポーツ・健康の森公園整備	完成後の維持管理費はいくらかかるのか。また、どのくらいの利用者を見込んでいるのか。	類似施設等を参考に、概算で年間1,800万円と試算しています。利用者数についてはまだ試算していません。集客のしかけも重要と考えています。
早月川の水	養豚場の臭いと水質の測定をしたと聞くと、その結果は、公表はされるのか。	検査は今後定期的に行い、結果も公表する予定です。また、別に、水道局として毎日のものや毎月のもの等、様々な検査を行っています。いずれも正常値です。
下水道	下水道に接続していない家庭に対して、どのような対応をしているのか。	広報等でPRしています。また、普及員を雇用し、電話や訪問で接続のお願いをしているところです。
防災	津波に対して関心が高まっている。海拔のわかる印はあるか。防災マップはないのか。	防災マップは地震と内水面のものはありますが、津波のものはまだ作成していません。海拔のわかる標識等も現在のところありません。いずれにしても庁内で打合せを行っているところで、早急に対応したいと思います。
入札	市内でAランクの業者がなくなったそうだが、市にとってプラスと考えるか。入札は、総合評価方式をとっているか。業者には地域貢献を期待したいので、企業評価を勧奨してほしい。	2億円以上の大きな建築工事はジョイント等で請負可能で、市内の業者が全く入れなくなったわけではありません。現在、500万円以上はエリア指定の条件付一般競争入札で、500万円未満は指名競争入札としています。総合評価方式も導入しており、昨年も数件ありました。
養鶏場建設	市長は、賛成なのか反対なのか。	地下水汚染、臭い、鳥インフルエンザの問題があります。市民の健康を守る観点から、反対の立場です。
自主防災組織の助成	市から毎年の助成が2万円と少ない。訓練の費用だけで、資機材が購入できない。	組織設立時のまとまった助成金で資機材を購入し、それ以降の助成金は消火器の詰め替え等、あくまで訓練費用を想定しています。ただ、資機材は更新が必要になってくることから、今後検討したいと思います。
農政	農業を辞めていく人が多い。市として今後の農政の展開をどう考えているか。耕作放棄地解消の対策は。また、TPPを市としてどう考えているか。	集落営農等の組織化や認定農業者支援により担い手育成を進め、耕作放棄地についてもそういった方々に受託してもらう等、解消に努めたいと考えています。TPPについては、議会でも反対の決議がなされています。市としても、反対の立場で臨んでいます。

東加積地区の主な提言等と回答要旨

提言等の項目	23年度春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
並行在来線	西滑川駅設置は、どうなっているのか。並行在来線について、見える形で説明を。	新駅設置については、県で第3セクターの新会社を作り、そこで検討されるものと思われます。地鉄との関係や施設の費用負担等、様々な問題もありますが、何より住民の足をどうするのか、市民主体で議論していただく必要があるものと考えています。
認定こども園	平成23年度は西加積でということだが、他に計画はあるのか。	地元からそのような要望が出れば、ご相談に応じたいと思います。
子ども手当	子ども手当では、市が支出するものなのか。国で支給しないことになっても、市で支給するのか。	国でつなぎ法案が可決され、6ヶ月は1万3千円のまま支給ということになりました。従来の児童手当部分で一部市と県の負担ですが、それ以外は国の負担です。金額は国の動向に従います。
不法投棄	7月の地デジ化に伴い、山間部へのテレビ等の不法投棄が心配される。不法投棄のパトロール等、警察と連携して監視強化を。例えば、高速道路下等、監視カメラを設置したらどうか。	シルバー人材センターにお願いして巡視を強化しているところです。
野尻用水	先日発生した土砂崩落について、崩落部分を取り除くことになったが、その費用負担は市が半分、地元が半分という結論になった。まず、崩落部分を取り除くのではなく恒久的な対策を。そして、地元負担のないように。	県の農林振興センターとも現地の状況を確認した上で判断したところです。市としては小規模災害ということで助成可能ですので活用いただければと思います。
住みよい村づくりの資材助成	生コンクリートを要望したら、「農地・水・環境保全向上対策共同活動支援事業」を実施していることを理由に断られた。昨年は、そういった話はなかったのに、今年から「中山間地域等交付金事業」等に取り組んでいる集落は対象外となった。取組内容を吟味した上で、一体的に考えてほしい。とにかく集落にはお金がない。	2重補助ということになってしまいます。予算に限りもありますので、補助が出る地域についてはそちらを活用いただきたいとお願いしたところです。ご理解をお願いしたいと思います。